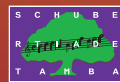




丹波の森国際音楽祭

シューベルティアードたんば2025

ガラ・コンサート



Tamba no Mori
International
Music Festival
Schubertiade
Tamba

「篠笛とマンドリンの出会い」

Collaboration of Shinobue and Mandolin

日時 2025年10月12日(日)
開演14:00～(開場13:30)

場所 丹波の森公苑 ホール
兵庫県丹波市柏原町柏原5600

料金 大人:2,500円(当日3,000円)
高校生以下:無料(要整理券)
※全席自由



出演

土師 あき子(篠笛)
アロン・サリエル(マンドリン)
城村 奈都子(ピアノ)
畑 儀文(テノール)



【ウェルカム・ドラム】
13:30～14:00
トゲン・オル (ジャンベ)

曲目

津軽民謡：山唄
モーツァルト：ロンド K.485
フンメル：ソナタ Op.37a
ブラームス：ハンガリア舞曲6番
F.シューベルト：楽興の時3番
ベートーヴェン：アンダンテと変奏曲 ニ長調 WoO.44b
小椋佳：愛燦燦
いずみたく：見上げてごらん夜の星を
他

今年の
フランチ



土師 あき子
(篠笛)



アロン・サリエル
(マンドリン)



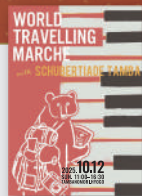
城村 奈都子
(ピアノ)



畑 儀文
(テノール)

同時開催

WORLD TRAVELLING MARCHES
-世界を旅するマルシェ-



- 主催 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会
シューベルティアード・ジャパン、丹波文化団体協議会、丹波篠山市自治会長会、丹波市自治会長会、篠山の音楽推進会議、篠山音楽協会、丹波市音楽協会、丹波合唱の会、丹波篠山市観光協会、丹波市観光協会、JR西日本篠山口駅、各街角コンサート実行委員会、丹波県民局、丹波篠山市、丹波市、田園交響ホール、(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑
- 後援 オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京、(公財)兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社丹波総局、朝日新聞神戸総局、読売新聞豊岡支局、毎日新聞神戸支局、産経新聞社神戸総局、丹波新聞社、サンテレビジョン、ラジオ関西、Kiss FM KOBE、兵庫県教育委員会、丹波篠山市教育委員会、丹波市教育委員会、(一財)兵庫県学校厚生会



問合せ先 (公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑 事業推進部 文化振興課 TEL.0795-72-5170 FAX.0795-72-0899

協賛

TOA 株式会社

創業寛永七年
大岡株式会社 兼匠 千鳥屋宗家
株式会社 吉住工務店
株式会社 キッズ珠算会
株式会社 日本コスモトピア



株式会社 オオツキ

株式会社 丹波市郷友会

丹波市郷友会

丹波の森国際音楽祭 シューベルティアーデたんば2025

ガラ・コンサート 「篠笛とマンドリンの出逢い」 Collaboration of Shinobue and Mandolin

出演

Artist

今年のフランチ



Akiko Haze

土師 あき子 (篠笛)

幼少期より地元の祭囃子に慣れ親しみ、2歳で和太鼓、9歳で笛を始める。
2010年 鼓童文化財団研修所 入所。
2012年 太鼓芸能集団「鼓童」入団。
主に篠笛を担当し、年間100公演を越える国内外ツアーに参加。
2013年・2014年 国際芸術祭「アース セレブレーション」城山コンサートにて唄でソロ出演。
2013年・2015年 人間国宝 坂東玉三郎氏と舞台「アマテラス」で共演。その他数々の坂東氏が手掛ける舞台へ出演。
2017年3月「東京2020公認プログラム」の日本の文化を世界に発信するための企画で、バーチャルシンガー「初音ミク」と共演。
2017年8月に鼓童を退団後、大阪を拠点に、篠笛や和太鼓の指導をしながら演奏活動を続けている。



Alon Sariel

アロン・サリエル (マンドリン)

過去10年間、マンドリニストでありマルチ楽器奏者でもあるアロン・サリエルは、マンドリンに新たな命を吹き込み、その伝染するような音楽性と完璧なテクニックで批評家や聴衆に感動を与えてきた。アムステルダムのロイヤル・コンセルトヘボウ、ハンブルクのエルプフィルハーモニー、ブラジルのサラ・サンパウロ、メキシコのパラシオ・デ・ベラス・アルテスでの公演を含め、35カ国以上で1000回を超えるコンサートの記録を持つ彼は、ソリスト、室内楽奏者、芸術監督として、多様なプロダクションで多面的なキャリアを維持している。
さまざまな文化やジャンルへの好奇心が高まるにつれ、さまざまな撥弦楽器がサリエルの手に渡り、「ピンときたら」その楽器を手にするようになる。コンサートでは、それらの「撥弦楽器のパートナー」を簡単に持ち替えて、聴衆に多様な音楽体験を提供している。
現在のレコーディング・シリーズ「Plucked Bach」(PENTATONE)で、アロン・サリエルは、さまざまなマンドリンやリュート、バロック・ギター、ウード、バグラマを使った魅力的な新しいアレンジで、バッハの独奏曲にアプローチしている。2020年のベートーヴェン記念日には、ナクソスに招かれ、マンドリンとフォルテピアノのためのベートーヴェン作品を録音した。アルバム「Telemandolin」(Berlin Classics)で、サリエルはOPUS KLASSIKを受賞した初のマンドリニストとなった。
アロン・サリエルは、動物愛護団体プロ・アニマルの親善大使を務めている。余暇は自然の中で読書や瞑想を楽しむ。



Natsuko Shiromura

城村 奈都子 (ピアノ)

武庫川女子大学音楽学部卒業後、同大学専攻科修了。兵庫教育大学大学院修士課程修了。
在学中より演奏活動を行い、丹波の森国際音楽祭「シューベルティアーデたんば」には毎年出演し、2015年度シンボルアーティストを務めるなど、主に伴奏室内楽の分野で活動。
2018年6月には兵庫県立芸術文化センター小ホールにて初リサイタルを開催し好評を博した。
また、絵本オペラカンパニー「おべろん」のメンバーとして各地の小学校・幼稚園で150公演以上を重ねるなど、アウトリーチにも力を注いでいる。
近年は「クラシック音楽×演劇×謎解き」をミックスした新感覚のイベント「音楽探偵バッハの事件録」セバスチャン役としても活躍。
現在、武庫川女子大学音楽学部伴奏助手、同大学附属中高音楽教室講師。
関西フィル合唱団、大阪バッハ合唱団、西宮中央合唱団伴奏ピアニスト。



Yoshifumi Hata

畑 儀文 (テノール)

兵庫県丹波篠山市出身。大阪音楽大学大学院修了。
1979年、小林道夫氏の伴奏による初リサイタルを行う。以後、テノール・ソリストとして、ペーター・ダム(ホルン)、ユリウス・ベルガー(チェロ)との共演、イェルク・デームス、ロジャー・ヴィニョールズ、小林道夫の伴奏による数多くのリサイタル等、大きな成果を収めた。
91年アムステルダムの高名なバロック歌手M.v.エグモントのもとで研鑽を積む。以後オランダ各地で毎年受難週には福音史家として招かれ、また独ライブツイヒ・ニコライ教会においてJ.S.Bachの作品のソロを務めた。93年~99年3月にかけて、シューベルト歌曲全曲演奏を成し遂げ国内外で話題を集めた。
日本コロムビアから5種類、(株)エールから2種類のCDをリリースし、その天性の歌声はジャンルを問わず、心に響く感動を呼び注目を集めている。
2024年5月Eckelshausener Musiktage(ドイツ)、8月Sommerkonzert(ウイーン・リヒテンタール教会)で歌曲集「美しき水車屋の娘」を弾き歌う。
「大阪文化祭賞」「咲くやこの花賞」「坂井時忠音楽賞」「兵庫県文化賞」等多数の賞を受賞。
丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば音楽監督

● チケットは、下記のプレイガイドでお求めできます ●

丹波の森公園・丹波ゆめタウン・春日文化ホール・田園交響ホール・かいばら観光案内所

※フォームからのご予約も承ります。スマートフォンでQRコードを読み取ってください →



● お問い合わせ先 ●

丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会事務局

シューベルティアーデたんば

検索

(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公園 事業推進部 文化振興課内 TEL.0795-72-5170 FAX.0795-72-0899

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600 9:00~17:00 毎週月曜日休館 ※月曜日が祝日の場合は翌日